

園長印	講師印	園長補佐	主任印	担任印

週指導計画 尾道市立木ノ庄東幼稚園 4歳児 ひまわり組
11月 2週 11月11日(月)～11月15日(金)

期のねらい
○友達と一緒に戸外での運動遊びを楽しみ、決まりの大切さに気付き守ろうとする。
○気の合う友達とイメージを共有しながら、一緒に表現したり工夫して遊んだりする。
○身近な自然に十分に触れ合い、興味をもって見たり、考えたりして遊ぶ。

先週の幼児の姿からの願い

○「だるまさんがころんだやろう」「形(○△□) 鬼ごっこしよう」「まるの線かこうや」「ぼくたちは四角描くね」など友達同士誘い合い、教師がいなくてもルールのある遊びが少し進められるようになってきている。子供たちの遊びの様子を見ながら、仲間に入ったり見守ったりしながら、友達と体を動かして遊ぶ楽しさやルールを守って遊ぶ楽しさが味わえるようにしていきたい。

○積木でバスを作り、「バスに乗って、ハッピーキッチン屋さんやお弁当屋さんに行ったらいいじゃん」「おもしろい」「バスの運転手さんってわかるように名札作ろう」「いいね。私もいる」など自分の考えや思いを伝えながら友達とイメージを膨らまし楽しんでいる。また、「ハッピー人形劇行き出発しまーす」「もうすぐ着きまーす」「早くだれか人形始める準備!」「いいよ」など友達とやり取りを楽しみ、いろいろな友達と関わって遊ぶ姿が見られるようになった。自分の思いを出しながら、いろいろな友達と関わり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきたい。

○いろいろな廃材を使い「坂道ピタゴラスイッチ」を作り、ドングリが転がるゲームを楽しんでいる。「もう一つ反対側に坂道ピタゴラスイッチ作ろう!」「いろいろなコース作る?」「いいね」「下に落ちるの作る?」など友達といろいろなアイデアを出しながら秋の自然物を使い楽しんでいる。秋の自然物やいろいろな素材を使い、考えたり工夫したりしながらイメージした物を作り楽しめるようにしていきたい。

週のねらい
○教師や友達と一緒に体を動かして遊んだり、ルールのある遊びを楽しんだりする。
○気の合う友達と思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
○秋の自然物に親しみをもって、かかわり考えたり試したりして遊ぶ。

内容
・友達と遊び方やルールを考えながら、鬼ごっこなどを楽しんだり、体を動かす楽しさを味わったりする。
・自分の思いや考えを言葉で表しながら遊び、相手の思いにも気付き、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
・自然物や身近な素材を工夫して使うことを楽しみながら、イメージした物を作ったり遊びに取り入れられたりして楽しむ。

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
活動予	8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:15 片付け 10:25 朝の会 ・遊びの振り返り	8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:15 片付け 10:25 朝の会 ・遊びの振り返り	広島県国公立幼稚園 こども園連盟研究大会 8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:15 片付け 10:15 遊びの振り返り	わくわく絵本読み聞かせ 8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:00 片付け・排泄 10:15 朝の会 ・遊びの振り返り	ばたぼん絵本読み聞かせ 移動図書 8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:00 片付け・排泄 10:15 朝の会 ・遊びの振り返り
定(行事・絵本・歌等)	(♪あきのおと 10:45 だるまさんがころんだをしよう 11:30 給食準備 給食 13:20 片付け 降園準備 13:40 帰りの会 『どんぐりむらのぼんやさん』『どんぐりむらのぼんやさん』 14:00 降園する	♪まつぼっくり 10:45 いろいろなお店で遊ぼう 11:30 給食準備 給食 13:20 片付け 降園準備 13:40 帰りの会	♪どんぐりころころ ♪大きな栗の木の下で 10:40 降園準備 10:50 降園する	♪やきいもグーチャーパー) 10:30 わくわくランドにいこう 11:30 給食準備 給食 13:20 片付け 降園準備 13:40 帰りの会 『おちばいちば』	♪たんぼほ組と遊ぼう 10:30 たんぼほ組と遊ぼう 11:30 給食準備 給食 13:20 片付け 降園準備 13:40 帰りの会 『七五三さんだよ1・2・3』

○予想される活動 ☆環境の構成 ●教師の援助

・教師や友達と一緒に体を動かして遊んだり、ルールのある遊びを楽しんだりできるように・・・
☆自分たちで遊びがはじめられるように、遊びの場を仕切ったり、必要なラインを引いたりしておく。
☆決まった友達とだけでなく、たくさん的人数で遊ぶ楽しさも味わえるようにクラスみんなでルールのある遊びをたっぷり楽しむ時間を作る。

○お家鬼ごっこ ○形鬼ごっこ
○だるまさんがころんだ
○固定遊具 など

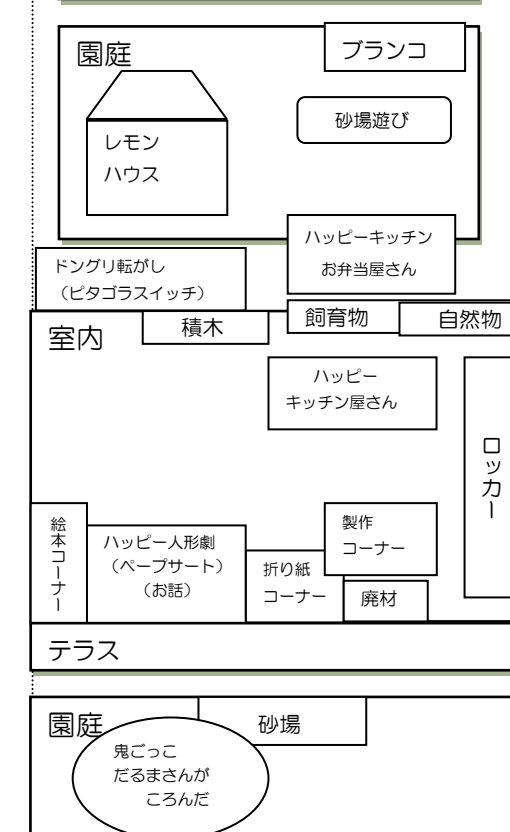
●遊びだしの様子に応じて、教師も鬼役やチームの仲間などになって、楽しい雰囲気を作り、慣れてきたら遊びから少し引いて、子供たちだけで遊びを進めたり楽しんだりできるようにする。

●負けることや鬼になることに抵抗がある子供には、一緒に遊びながら、必要な場面ではルールをわかりやすく知らせたり、気持ちを受け止めたりしていく。

●子供同士の思いの違いからトラブルや遊びの楽しさを感じられなくなってしまったときは、教師が間に入って、一人一人の気持ちを受け止め、子供たちが自分なりに思ったことを伝えようとする場を作っていく。

●遊びの展開を見ながら、新しい遊び方やルールを子供たちと考えていく。子供の考えやアイデアを受け入れ、考えを出し合いながら遊びを進める楽しさ、ルールのあるおもしろさを味わえるようにする。

【わくわく広場】 固定遊具
・うんてい・たいこばし・すべりだい



園庭: レモンハウス、ブランコ、砂場遊び、ドングリ転がし(ピタゴラスイッチ)、ハッピーキッチンお弁当屋さん、積木、飼育物、自然物、室内、製作コーナー、折り紙コーナー、廃材、ロッカー、ハッピーキッチン屋さん、ハッピー人形劇(ペープサート)(お話)、絵本コーナー

テラス: 鬼ごっこだるまさんがころんだ、砂場

・秋の自然物に親しみをもって、関わり考えたり試したりして遊べるように・・・
☆園内や園外で見つけて自然物(木の实、落ち葉、枝など)を見立て遊びや遊びのアイテムに使えるように分類して、手の取り出しやすい場所に置く。
☆作った物で繰り返し遊べるように、置いておく場所を整えたり、作り足したり直したりできるように必要な材料を用意したりする。
(ダンボール、お弁当箱、シート、カラーホイル、カップ など)
○木の实や葉っぱを使って遊ぶ
(ハッピーキッチン屋さん
・お弁当屋さん)
ドングリ転がし(ピタゴラスイッチ) など)

●遊びの中で思い付いた物をすぐに表現できるように、材料や場作りの道具などを用意し、自分で遊びを進めようとする気持ちを大切にしていく。

●子供たちの気付きに共感したり、クラスの友達に伝えたりして秋の自然に興味をもって遊べるように教師も一緒に遊ぶ。

●木の实を使ってケーキやお弁当作りなど楽しめるように、教師と一緒に遊び友達とのやりとりが楽しめるようにする。

・気の合う友達と思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しめるように・・・
☆子供たちの遊びの様子を見ながら、イメージした物を実現できるような道具や材料を準備する。
(積木、ダンボール、画用紙、新聞紙、廃材など)

○ハッピーキッチン屋さん ○ハッピーキッチンお弁当屋さん ○ペープサート ○お話作り
○ドングリ転がし(ピタゴラスイッチ)

●子供が自分の考えを膨らましなが、一緒に楽しめるように、子供の発想を受け止め、友達に伝え広めていく。また、友達に自分から関わって思いを聞いたり、伝えたりできるようにしていく。

●教師も仲間になりながら作ったり見立てたりし、友達とのやり取りを楽しめるようにしていく。

●近くで遊ぶ友達や、同じ遊びをしている友達の様子を見て、互いに刺激を受けることができるような場の取り方を工夫していく。

●物の置き場所や、遊びの中の役、やりたいことなど遊びの中で思いが異なり、いざこざになるときは、様子を見守りながら教師が間に入って互いの思いを丁寧に聞き出し、わかりやすく伝えることで、友達には自分と違う思いがあるということに気付けるようにする。また、友達とのやり取りの中で、互いの思いを出し合いながらもぶつかり合う場面では、一人一人の思いを受け止める。どうすればよいか一緒に考えたり、子供なりに考えた姿を認めたりしていく。

生活習慣・家庭との連携

- ・昼間と夜で気温の差が出てくるので、衣服の調節や汗の始末などできるよう言葉がけをする。
- ・風邪が流行る時期なので、手洗い、うがいを忘れずに丁寧にできるように言葉をかけていく。
- ・遊んだものをそのまま置いて次の遊びへ移っている子供が見られるので、どのようにするとよいか考えられるように言葉をかけていく。
- ・進んで片付けをしている姿を認めながら、きれいになった時は、喜びあえるように言葉をかけていく。

評価・反省

○教師や友達と一緒に体を動かして遊んだり、ルールのある遊びを楽しんだりすることができたか。
○気の合う友達と思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむことができたか。
○秋の自然物に親しみをもって、かかわり考えたり試したりして遊ぶことができたか。